

第13回 本明川ダム建設事業費等監理委員会 議事要旨

■開催概要

- 開催日：令和6年8月9日（金）
- 開催場所：国土交通省九州地方整備局本明川ダム工事事務所

■事業概要

- 実施箇所：長崎県諫早市
- 事業期間：平成2年度～令和14年度
- 総事業費：約730億円

■報告内容（概要）

- 主な事業の進捗状況
 - ・付替市道および工事用道路（ダムサイト下流部）は令和6年11月開通、工事用道路（ダムサイト上流部）は令和7年1月開通を目標に工事を進めていること、今年度ダム本体工事に着手することを説明。
 - また、本体工事工程（直近3ヵ年）、事業費の推移を報告。
- 令和5年度の実施内容
 - ・令和5年度予算をもって実施した付替道路や工事用道路工事において、想定と異なる地質分布が確認されたことによる追加対策、狭隘部の施工に伴う施工機械の見直しや近年の物価上昇に伴う材料費の高騰等の影響により予算を要したこと、及びダム本体工事に係る諸調査について実施内容を説明。
- 令和6年度の実施内容
 - ・令和6年度予算における主な実施内容として、ダム本体一期工事、本体関連工事を説明。
- コスト縮減への取り組み
 - ・道路工事におけるコスト縮減として、建設発生土の有効活用、関係機関・地元調整、ICT技術や新技術等の活用等の取り組みを説明。
 - ・今後のコスト縮減（案）として、設計・材料・施工の各合理化検討によるコスト縮減の可能性について説明。
- 事業に影響を与える社会的要因及び事業進捗上のリスク
 - ・今後、社会的要因及び現場着手により想定と異なる地質分布が確認される等のリスクにより、事業費、工期等に影響を与える可能性があることを説明。
- 本明川ダム建設事業の取組
 - ・景観検討、環境保全措置、DX（BIM/CIM）の活用、広報の取り組み等について説明。

■議事概要

- 事業進捗状況について確認した。
- リスクを把握し、コスト縮減策も含め、事業費、工期について継続して監理・検討していくこと。
- 一般の人に耳を傾けてもらえるような情報発信を意識し、様々な切り口からダムの情報発信を進めること。